

とことん！淡路島ぐるりんロード

8月12日(土) ~ 8月16日(水)

IN 諭鶴羽神社、国立淡路青少年交流の家、民宿『西田荘』

	午前	午後	夜
1日目	淡路島に向けて出発 ぐるりんスタート	ぐるりんサイクル	諭鶴羽山到着 振り返り
2日目	ぐるりんサイクル	施設到着・昼寝 レクリエーション	振り返り
3日目	海遊び	海遊び 野外炊飯	振り返り
4日目	ぐるりんサイクル、民宿到着		BBQ、振り返り
5日目	ぐるりんサイクル	淡路島を出発 解散	

一日目： 今年も淡路島一周がやってきました。今回は19名のチャレンジャーと一緒に淡路島走破を目指します！！各集合場所から明石駅に到着し、フェリー乗り場へ向かい、そこから乗船し、淡路島へ渡りました。岩屋港へ到着すると、自転車の基本的知識、乗り方、注意事項の説明を受けました。説明後、思い通りに停止できるか試験走行を行いました。上手く乗りこなせるように何度も練習し、合格をもらったグループから出発しました。淡路島の天候は晴れで、朝から容赦ない照りつけでしたが、負ける事なく軽快に進まれています。例年に比べペースが速く、洲本市近くで昼食を食べることが出来ました。昼食時のみんなの様子も元気そうで、疲れている様子を伺うことはありませんでした。洲本市内に到着すると、もらったお小遣いを使ってジュースやアイス、冷たいものを買いました。口に入れた時、走っていた緊張感から解かれ笑顔いっぱいに美味しそうに食べていました。後半に差し掛かり、初日最大の難所“山ごえ”です。由良から灘へ行くために山を二つ超えなければなりません。長い手押しからの急な下り坂を繰り返して進んでいきます。登る前にグループで気合を入れ直し、最大限に注意と緊張を持ち、山々を超えました。水仙ラインを進むとようやく1日目のゴールです。ここからは車で一気に諭鶴羽山の山頂にある神社へ向かいます。神社の休憩所にてシャワーで汗を流し、お弁当を食べ、振り返りを行いました。疲れて今にも寝そうな方もおられました。



二日目： 朝は皆元気よく起き、着替えや朝食の準備を行いました。朝食を済ませると、休憩所を利用させていただいたお礼として、境内の奉仕活動を行いました。誰一人サボることなく、汗を沢山かきながら、草抜きを行いました。車で一気に下山し、「国立淡路青少年交流の家」まで向かいました。途中、何度か大きな丘がありましたが、声掛けをし、お互い励まし合い、必死に進まれています。丘の一番上までやってくると後は施設まで下るのみです。この頃には皆自転車の技術は向上されており、昨日のようにブレーキで抑えながら下るのではなく、スピードにのって勢いよく走っておられました。その姿はとても涼しそうでした。そして、ついに目的地の施設に到着しました。到着後、部屋に荷物を置き、早速食堂へ向かいました。このキャンプ初めての食堂です。バイキング形式なので、メンバーは嬉しそうにメニューを盛り、食べておられました。昼食でお腹を満たした後は、和室でお昼寝をしました。初めはゴロゴロされていましたが、しばらくすると部屋中に寝息が響いていました。お昼寝をしっかりと取ったので、最終日のお小遣いをかけて、砂浜でレクリエーションを行いました。炎天下の暑い中、ビーチフラッグ、砂山作り、砂山崩しを行いました。夜のプログラムは昨日同様に「振り返り」です。昨日よりも深く、長く、一人一人の意見を大切に話し合いました。



三日目： 施設で一日過ごす休息日です。朝食はキャンプで定番の「パックドッグ」です。経験した事のあるメンバーが率先してやり方を皆に伝え、作りました。昨日までに比べゆったりとした朝に皆の表情も和らいでいました。朝食を済ませると海遊びです。この時ばかりはテンションも最高潮で、準備はいつも以上に早かったよ



うに感じました。「阿万海水浴場」に到着し、準備運動を終えると、我先と駆け足で海に入って行きました。海は暑い体を涼くさせ、ほぼ休憩することなく海を楽しませていました。お昼を挟み、メンバーの親御様から差し入れてスイカをいただいたので、「スイカ割」を行いました。上手に、楽しく割り、冷たくて美味しいスイカをいただきました。海遊びの時間も終わり、施設へ戻り着替えると、野外炊事です。こちら定番の「焼きそば」です。焼きそばはスピード勝負で、野菜、肉を切り、麺をほぐし、鉄板で一気に焼き上げます。その一連の流れをグループで協力して作り上げました。夜は振り返りです。昨日、一昨日に比べキャンプに慣れ、友達とも仲良くなり、楽しい気持ちばかりが前に出て、グループで過ごす事の意味を忘れていたようで、ゆえに振り返りにあまり力が入りません。みんなと話し合い、これからの方向性について確認しました。



四日目： 自転車の後半が始まります。朝から施設の清掃、荷物の片付け、朝食を手早く済ませ、淡路島残り半周をスタートさせました。初日とは違い、初めからグループ内での関係性は出来ているので、声かけやサポートは積極的にされていました。難所も大きな丘越えもお互い応援し合いながら、頑張られておられました。予定よりも早くチェックポイントである「道の駅うずしお」に到着しました。お昼を食べ、少し休憩をしてから再び出発しました。雨雲が怪しく、少しパラパラ雨が降ってきたり、風が強くなってきたりしたので、少し急ぎ目に進みました。運良く、大雨に打たれる事なく今回のゴールである「西田荘」へと到着しました。到着後にいただいたカキ氷は火照った体に染み渡る美味しさでした。少し休憩した後、晩御飯として、楽しくBBQを行いました。今回はメンバーに焼く事から全て任せ、自由に食べていただきました。上手に焼く役を回し、楽しくさせていました。お楽しみとして、流しそうめんもいただきました。この日の夜は、振り返りをせずにゆっくり休みました。



五日目： ドタバタすることなく、心地よい朝を迎えました。朝食後、昨夜出来なかった振り返りを行いました。最後の走りに向けて気を引き締める話をし、民宿の皆さんに見送っていただき、ゴールに向けて出発しました。朝から照り付けが激しく、非常に暑かったです。そうした過酷な環境でも皆の表情は真剣で、誰一人ふざけている方はおられません。昼食は各グループでコンビニにて購入しました。この時は好きなものを買える為、和気あいあいと楽しい雰囲気でした。お昼を済ませ、ゴールに向けてラストスパートです。海の向こう側に明石市が見え、明石海峡大橋が見えました。その光景に皆のテンションも最高潮です。途中休憩を挟みつつ、ようやくスタートであった“岩屋港”に帰って来ることが出来ました。休憩をした後、最後の振り返りを行いました。今までの総括でもあり、感想と皆へ一言を述べておられました。時間がきたので、フェリーに乗り、明石で全体解散した後、各解散場所へ戻りました。本当にお疲れ様でした。そして、心からおめでとう！！



<キャンプ総括>

今年は大きな事故や怪我、トラブルなく走り終える事が出来ました。その一番の要因はメンバー皆『やる気スイッチ』を入れ、誰一人走行中にふざけることなく真剣に走っていたからです。毎年何かしら起こる原因は、走っている最中に気を抜いたり、ふざけたり、甘えたりする事が原因だと考えています。今年のメンバーはおふざけが多く、走行時以外の時はじゃれあったり、色事話をしたり、「いい加減にきなさい!!」と何度も注意を受けていました。例年に比べ仲良くなるペースが早く、その分おふざけも増していました。それでも、走行中は安心して見守る事が出来ました。それはスイッチの切り替えがしっかりされていた為です。普段ふざけている方も走りとなると人が変わったかのように、後ろを常に意識され、年下のメンバーを配慮し、非常に頼りになる存在でした。こうしたスイッチの切り替えが上手いお兄さん、お姉さんを見て、年下の方は憧れを持ち、メンバー同士で刺激を与えあい成長できる関係を築いていきたいです。(竹中 哲郎)